

地域・データ利活用検討会 事業報告

中村創一*, 瀬戸彰文*, 森本和邦*, 増山和晃*

Support Program for Practical Use of Public Research Officer, including Synchrotron Radiation Utilization Trails

Soichi NAKAMURA, Akifumi SETO, Kazukuni MORIMOTO and Kazuaki MASUYAMA

1. はじめに

地域・データ利活用検討会では、これまで未活用であった、データの整理・分析等を行うことで、課題抽出を行い、企業等との連携につなげるとともに企業人材を育成することを目的としている。

2. 取組内容

本年度は、当所で設置している5軸加工機に用いる消耗品管理を目的として、三重県で導入した業務効率化ツール（Power Platform）にあるPower Apps というローコードツールを使用し、データベースの作成から管理用のアプリの作成を行った。

3. 取組結果

図1は作成したデータベースを、図2はアプリの作成画面、図3は作成したアプリの画面をそれぞれ示す。

品名	型番	数量	保管場所
フェイスマルアーブ	HSK-A63-FMH27	1	機械加工課
フェイスマルアーブ	490-080Q27-08M	1	機械加工課
ドリルチャック	HSK-A63-SRL13	1	機械加工課
ミーリングチャック	HSK-A63-MEGA16D-80A	1	機械加工課
ドリルチャック	Corchuck930	1	機械加工課
ドリルチャック	930-HA06-HD-ZS-110	1	機械加工課

図1 作成したデータベース
(データベースは Excel で作成)



図2 アプリ作成画面

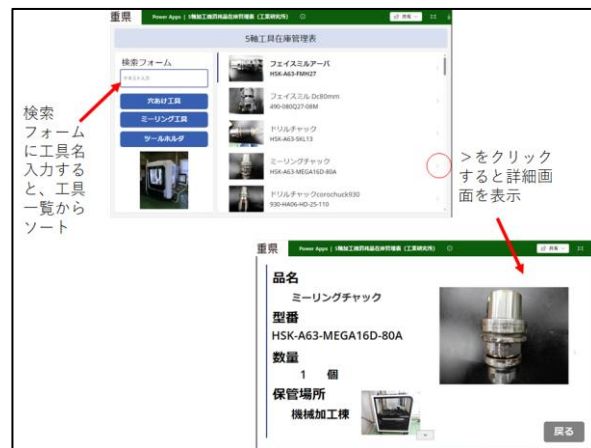


図3 作成したアプリ画面

4. まとめ

今回実施した取組から、データベースの設計に必要な構造等（識別子、基本情報、数量など）の理解や、ローコードアプリを用いたアプリ作成方法などを理解することが出来た。しかし、実際に使用すると、作業必要な情報が抜けているなど改善の必要があることも分かった。今後、これらの情報を整理し、企業の生産管理等に展開していく予定である。

* プロジェクト研究課